

<宮崎県立こども療育センター>

看護職員継続教育

当センターの継続教育計画は、宮崎県立病院の看護理念や継続教育理念に基づいたキャリア開発プログラムに沿って計画しています。

県立こども療育センター教育理念

生命の尊厳と人格を重んじ専門職業人として能力の維持・開発に努め、組織人として幅広い看護師を育成する。

教育目的

看護職員が組織及びチームでの役割と責任を自覚し、対象となる障がい児(者)に高質の療育・看護を提供できるよう個々の学習ニーズと目標を尊重し支援する。

教育目標

- 1 対象となる障がい児(者)に安全で良質な療育・看護が提供出来る。
- 2 必要な専門的知識を習得し、根拠に基づいた療育・看護ができる。
- 3 地域療育支援サービスの向上を図り、利用者主体の療育・看護が出来る。
- 4 「看護サービス実践」「マネジメント」「教育・研究」の看護実践能力の向上を図り、キャリア開発できる。

看護職員継続教育計画

センター内研修					★主催：病院局等研修	
コース	研修名	テーマ	対象者	ねらい		
シエネラリストコース	オリエンテーション	センターの概要療育の技術	転入者	医療型障がい児施設・医療型児童発達支援センター・小児整形外科病院の機能を持つ施設での看護職員の役割が理解出来る。	★看護サービス実践（年度毎に内容決定）	
	転入者研修		子どもの発達と療育	転入者		子どもの成長発達及び入所児の障がいの特徴・療育について理解する。
			ナイチンゲール看護論			ナイチンゲールの看護論を学び、入所児の療育における看護を展開する。
			3ヶ月研修			異動に伴う悩み、ストレス等表出し問題解決の糸口を見いだす。
			6ヶ月研修			
	11ヶ月研修					
	療育研修		重症心身障がい児の理解	全看護職員		障がいを理解し、個別対応ができる
			重症心身障がい児の呼吸管理			重症心身障がい児の病態生理・呼吸管理を理解する。
			重症心身障がい児のリハビリテーション			重症心身障がい児のADL介助の方法、日常のリハビリテーションの必要性が理解出来る。
			摂食			摂食機能評価について理解する。
			家族看護			障がい児を取り巻く家族の思いを理解し支援する。
	看護記録研修	センターにおける看護記録	全看護職員	①実践記録により看護が証明出来る ②診療情報開示対応の記録について理解する		
	看護理論研修	事例検討会	全看護職員	事例を通し科学的看護論に基づいた看護展開が理解出来、問題解決の糸口を見いだす		
	倫理研修	倫理的看護実践	全看護職員	専門職として倫理的問題を認識し、倫理的諸問題の解決方法を知る		
	主査研修	主査としての役割	主査	主査の使命と役割を理解し行動できる。		★マネジメント（年度毎に内容決定）
リーダー研修	チームリーダーの役割	チームリーダー	メンバーと共にチーム目標を達成するためのリーダーシップ役割を理解する			
接遇研修	組織人としての接遇マナー	全看護職員	接遇マナーを学び顧客満足・職場満足の向上を目指す			
安全管理研修	事故防止対策	全看護職員	リスクマネジメント・事故発生時の対応等について理解し実践できる			
看護研究	看護研究発表	全看護職員	看護実践の課題を研究的視点で追求し問題解決できる			
看護管理	看護師長・副看護師長研修		看護師長副看護師長	看護管理者がスタッフ対応・指導、病棟管理等において生き生きと看護管理活動が出来る。	教育・研究、管理者研修（年度毎にテーマ・内容決定） ★コーチング・EBN等 ★看護管理研修 ★人材育成担当者研修 ★実習指導者研修（派遣）	
	人材育成担当者研修		人材育成担当者	人材育成の基本的な考え方、研修方法、技術等について理解する。		
	実習指導者研修（派遣研修）	教育論、看護論、実習指導論等	実習指導者	看護教育における実習の意義ならびに指導者としての役割を理解し、効果的な実習を指導を行うために必要な知識、技術を習得させ看護教育の内容の充実を図る。		
専門領域	救急防災対策研修	救急防災対策	全看護職員	救急災害発生時の自分の役割がイメージ出来て、活動出来る	★専門領域（リソースナース）コース：各年度1コース研修 緩和ケア看護 感染看護 がん化学療法看護 救急看護 地域連携看護 リエゾン精神看護 皮膚・排泄ケア看護 糖尿病看護 摂食嚥下看護	
	感染・褥瘡対策研修	院内感染対策・褥瘡防止対策	全看護職員	感染対策・褥瘡防止対策の環境調整やスタッフ指導が適切にできる		
	地域連携看護研修	地域連携活動	全看護職員	地域連携看護の実践、活動が出来る		